



〈さぬき・たくみ 1982年、静岡県生まれ。東京芸大大学院美術研究科油画専攻修了、八戸学院大学短期大学部講師。市内のほか全国各地の展覧会などに出品している。アートイズは2014年度に開講。16年度から生涯教育の場「大人のアートイズ」に拡大〉

現代芸術教室アートイズ代表

佐貫 巧さん(35)

八戸圏域

未来考動

中核市・連携中核都市圏

八戸市を拠点に現代芸術教室「アートイズ」を開催している。各回完結型で、延べ2千人ほどの子どもが参加。うみねこバクダンペイントと題し、ウミネコのふんを模した絵の具入り水風船を板にぶつけて作品にしたり、展覧会鑑賞後に関連したテーマで制作したり、自由に表現する場を

作ってきた。

教室では、子どもが多様なモノの中から自分で自分の正解を選び取るチカラを身に付けることができる。開催依頼は県内外さまざまな団体からあり、決められた正解のない時代の学びとして、アートが必要とされていると実感している。

八戸には伝統芸能、食・良いものたくさんあるが、見せ方にはまだ課題がある。アーティストが入って作品にす

ること、外の人に地域の良さを伝えられる。地元の人が知らない、気づかない地元の良さを伝えることにもなる。魅力を伝えることが、UJIターンする人を増やすことにもつながるはず。

現在、市内にアートスタジオを準備している。アートイズを開催し、専門機材のある工房、制作現場を見学できるアトリエなどを設ける。いろいろな人が出入りできる場にして、地域をつなぐ実験的なことをしたい。

人、地域アートでつなぐ

こととした
八戸の面白い

人、面白いことをつなげるメディアウム(接着剤)になる。仕組みを継続していくためにも、ビジネスになるモデルをつくりたい。

(アート・エデュケーション・ファームを掲げ、連携中核都市圏事業として市が整備中の)新美術館も、人が行き交う、ワクワクするような場所になってほしい。

(聞き手・新村菜穂)

※随時掲載します。